

市民提案型事業中間報告会資料

上三輪東町内会

事業名

町内会による植樹帯の整備を通して、旧モデル事業構想の実現

旧モデル事業構想とは

総社市駅南地区区画整理事業完了後、行政と地域とで管理地（花壇、公園など）を整備していくというもの。

この事業を通して目指すもの

対話の場をすることにより町内会の融和と団結をはかり、世代を超えて家族参加型の取組とすることにより、自分達の手で明るく住みやすい町内を創っていくという意識を育てる。

植樹帯に関わる経過

○平成27年度

市から委託されて有志で植栽。

○平成28年度、29年度

各班（25班）年1回動員で草抜きなどの対応

なぜ、現場から遠く離れた班を動員するのかという不満の声。

○平成30年度

東町内会・・・一斉清掃3回、ボランティア清掃3回

中町内会・・・役員の一部に管理はすべて市に任せるべきという
根強い意見がある。

組織づくりと事業計画

第1回代表者会（4月26日）

- ・会の名称
家族親睦の会などが候補にあがったが、「ファミリーロードの会」と決定
- ・会長、副会長などの決定

第2回代表者会（6月9日）

- ・ボランティア清掃時の取組内容を協議

第3回代表者会（7月6日）

- ・中秋の名月を楽しむ会に関する合同班会議の内容を協議

第4回代表者会（8月6日）

- ・中秋の名月を楽しむ会の企画

事業計画

○町内一斉清掃（草抜き、水やり、植栽）

4月21日（日）、7月21日（日）、9月29日（日）

○ボランティア清掃（土づくり、植栽、ダンポール垣の設置）

5月19日（日）、6月16日（日）、8月25日（日）

○中秋の名月を楽しむ会

9月13日（金）18：00～

イベント（星座鑑賞、綿菓子、ポップコーン、メダカすくい）

○事業の反省及び次年度の取組

花壇近くにベンチを置き休憩できる場をつくるなど、親しみやす

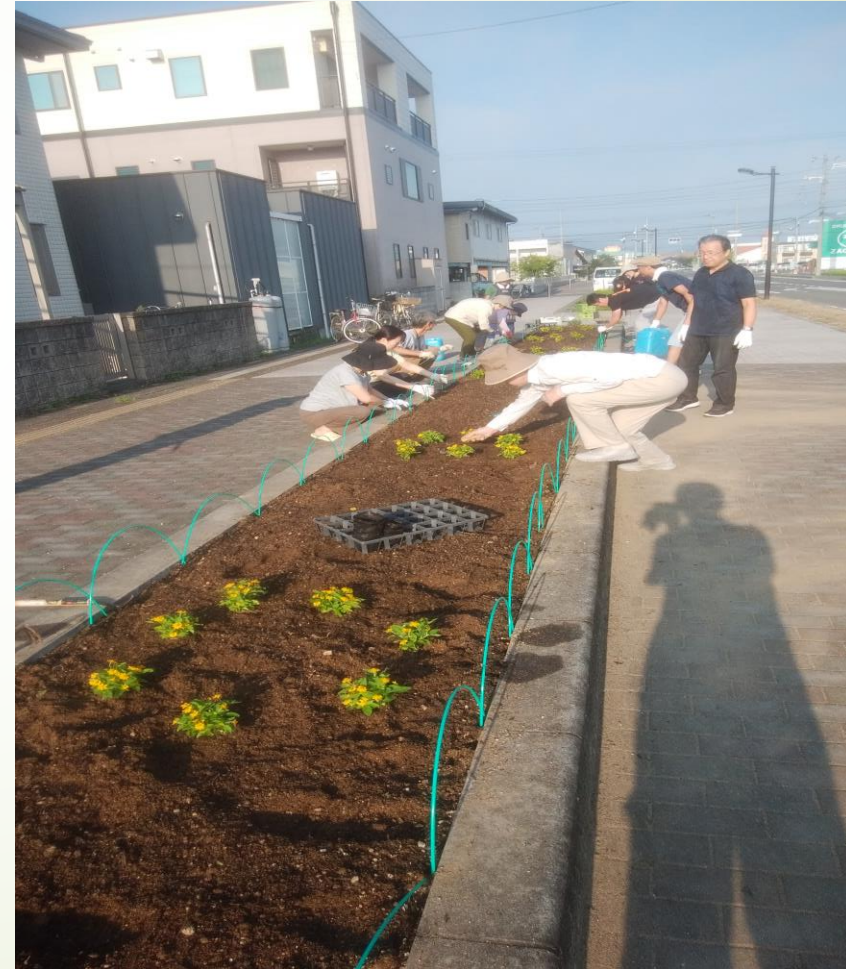
いファミリーロードにする。

植樹帯に植栽

R元年5月 芝桜600株を植栽



R元年8月 マンポ°ジューム100株を植栽
マンポ°-ル垣設置



現在の植樹帯の状況

H31年1月撮影



R元年 9月撮影



中秋の名月を楽しむ会

コミュニケーションの場



星座鑑賞



成果

- ・話し合う機会が増え、大勢の者が共通の目的で活動することによって、仲間意識が育ってきている。
- ・ボランティア清掃では、小学生や幼児を含めて毎回50人程度の有志の方々が参加してくれている。
- ・子どもをつれて参加する人が出てきて、大変和やかな雰囲気での作業ができるようになった。
- ・作業日以外でも、草を抜いたり水やりをしてくれるようになった。
- ・中町内会でも、町内にある公園をボランティアで清掃する動きが出てきた。

課題

- ・ 家族参加型の取組となるように、種のとれる花を植え、全戸に種を配るなどの工夫をしていきたい。
- ・ 植樹帯の整備活動を通して、協力して住みやすい町内を創っていくという意識を育てること。そして、町内会員全員で継続して取り組むことが可能なことを掲げることが大切だろう。
- ・ ファミリーロードの会を通じて養った絆を、夏祭り・秋祭りなど、現在町内にある行事の活用する。
- ・ 東町内会には、公園など大きなスペースがないため、近隣の町内会との連帯も視野に入れる。

市や行政への期待

・花壇の管理に関わること

現在町内会が植栽している場所は「道路」ということで、散水栓の設置が困難であると聞いている。散水栓設置要望あり。

また、道路側の管理地はカラー舗装にしていただきたい。

・安全対策の強化

話し合う機会が増えると、各班から最初に出される要望は、防犯灯やカーブミラーの新設などの安全対策である。

ボランティア清掃が定着すると環境整備費が少なくて済むので、その分を前述及び防犯カメラの設置など安全対策費に回していただきたい。



ご静聴

ありがとうございました